

	成果	課題と今後の方向
英語教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT が英語の後、必要に応じて日本語で説明してくれたので内容を理解しながら楽しく学習することができた。 ・低学年の、英語で伝える・聞くことへの抵抗感は少なかった。 ・中学年で、目的・場面・状況を設定し、単元のゴールを明確にして、相手意識をもたせる活動を仕組んだことで、子ども達が意欲をもって活動に取り組むことができた。 ・高学年でスモールトークの時間、単語や文章を書く練習時間、多くの仲間と交流して話す時間を毎時間取り入れることができた。教科書会社のテストとチャレンジトークを実施して評価を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の日本語率を少なくする。 ・高学年の授業時間数確保において、ALT が週に1回のため学級担任のみの授業を確保する。 ・ALT との打ち合わせの時間を十分に確保することができなかった。 ・多様な場面で交流時間を確保する。